

救護施設「誠和園」の今後の在り方は

今定例会には、本市の救護施設である誠和園の移転改築と、運営を行う事業者を選定・審査するため、救護施設整備等事業者選定審査委員会条例制定議案が提案されました。

今回の提案は、誠和園の運営を公立公営から民営へ移行するという大きな転換点となることから、議会において活発な議論がなされ、審議の結果、賛成多数で本議案を可決しました。

現状と経過

誠和園は、明治32年に市立病院併設の救護施設として設置され、昭和13年に塩田町に移転、開園しました。25年の生活保護法施行に伴い、現在の施設名称に変更し、同法による救護施設として、障害により日常生活を営むことが困難な方々の生活を支えてきました。

平成元年には、園舎の老朽化等により、現在の高知市横浜に移転し、通所事業や居宅生活訓練事業を開始するなど、入所者の希望に沿った取り組みを進めてきました。

その後、平成20年3月に策定されたアウトソーシング推進計画において、25年度以降の見直しを目標に今後の方向性を検討することとしていました。

しかし、平成23年3月の東日本大震災後、南海地震の被害想定が見直され、24年に高知県は、浦戸湾に面して立地する誠和園には、地震発生後、約44分で最大4メートルの津波が到達する

との予測を発表しました。

そのため、執行部において、平成25年度から誠和園の今後の在り方について検討を重ねた結果、全国の救護施設の95%近くが民営で運営されており、民間のノウハウを活用することでサービス等の充実を図ることや早期移転が可能となることから、民営方式による移転整備を行い、本市の福祉施策充実に向けて体制の強化を図ることとしました。

厚生委員会審査にて

■主な意見・要望

・誠和園の利用者や家族へのアンケート調査では、圧倒的に公営での運営を求めており、民営化後の処遇への不安や動揺の声が上がっている。執行部は、利用者やその家族の声にしっかりと対応していく必要がある。

・民営化により、利用者と誠和園の職員の間で構築されている人的関係が変化することを念頭に置いた丁寧な取り組み

を求める。

・事業者の選定に当たっては、これまで誠和園が担ってきた通所事業・地域生活への移行支援・地域貢献をしっかりと条件にすることを強く望む。

・開園以来77年間、誠和園の取り組みは大きく評価されている。これまでの取り組みを審査委員会委員に十分理解していただくためにも、委員と現場職員との対話の機会を設けるよう要望する。

・民間による運営は、経営を優先するため人員を必要以上に抑える懸念がある。現在の誠和園の人員を参考に、しっかりととした人員配置を求める。

■討論の概要

新風クラブ（賛成の立場）

民営化に對して、一部にサービスの低下を危惧する意見もあるが、現状は社会福祉事業の多くを社会福祉法人などが担っており、最後のセーフティネット事業という理由のみで民営化に反対する論理は、民間事業者の能力を過小評価するもので、合理性や説得力に欠ける。本市の財政はいまだ健全化ステージにあり、今後生産年齢人口の減少による財政規模の縮小が予想されている現状において本方針は、ベストではないがベタ

であるとは判断する。

新こうち未来（賛成の立場）

ある程度経営のめどが立つ定まった業務については、民間活力を積極的に導入すべきと考える。しかし、誠和園の民営化においては、今まで培ってきた運営水準を確保することが大事である。そのため、民営化を進めるに当たっては、主幹する本市福祉事務所のチェック機能や監視機能が十分に果たせる体制のもとで行われなければならない。

日本共産党（反対の立場）

利用者や家族に対するアンケート調査では、71名中65名が公営での運営を求めており、利用者の思いをしっかりと受け止めた上で、今後の方向性を決定すべきである。

民営化後もこれまでの基準は堅持するということが、民間は経営第一であり、いずれはコスト優先となり、利用者へのサービス低下は避けられない。これまでの本市の民間委託などに對しては、すでに多くの市民からサービス低下などが指摘されている。

これまで誠和園が行ってきた事業を、利用者とその家族が安心できる形で維持し、より一層充実させていくためには、公営による運営を堅持すべきである。

審議日程（9月定例会）

14日 開会

市長提出議案提案理由説明

17日 個人質問

浜口佳寿子（日本共産党）

迫 哲郎（日本共産党）

福島 明（新こうち未来）

和田 勝美（新風クラブ）

下本 文雄（日本共産党）

18日

近藤 強（市民クラブ）

戸田 二郎（新こうち未来）

平田 文彦（新風クラブ）

竹内千賀子（市民クラブ）

清水おさむ（新風クラブ）

24日

川村 貞夫（新こうち未来）

岡崎 豊（市民クラブ）

山根 堂宏（明 党）

寺内 憲資（明 党）

細木 良（日本共産党）

25日

はた 愛（日本共産党）

高木 妙（公 明 党）

下元 博司（日本共産党）

深瀬 裕彦（市民クラブ）

浜口 卓也（新こうち未来）

28日

西森 美和（公 明 党）

28・29・30日 常任委員会

10月2日 委員長報告 採決

人事議案提案理由説明

採決 閉会